

情報提供をお願いします

やんばる地域では、現在9か所でツルヒヨドリが見つかっており、地域や関係団体と協力しながら防除活動を行っています。(平成31年3月現在)

これ以上の被害拡大を防ぐためには、**早期発見・早期防除**がとても重要です。

ツルヒヨドリを見つけた時は、やんばる地域なら“やんばる野生生物保護センター”へ、その他の地域なら“各市町村役場”へご連絡ください。

やんばる野生生物保護センター連絡先

住所 〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村比地 263-1
TEL 0980-50-1025 / FAX 0980-50-1026



外来生物法について詳しく知りたい方は
<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



我が国の生態系に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト
<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>



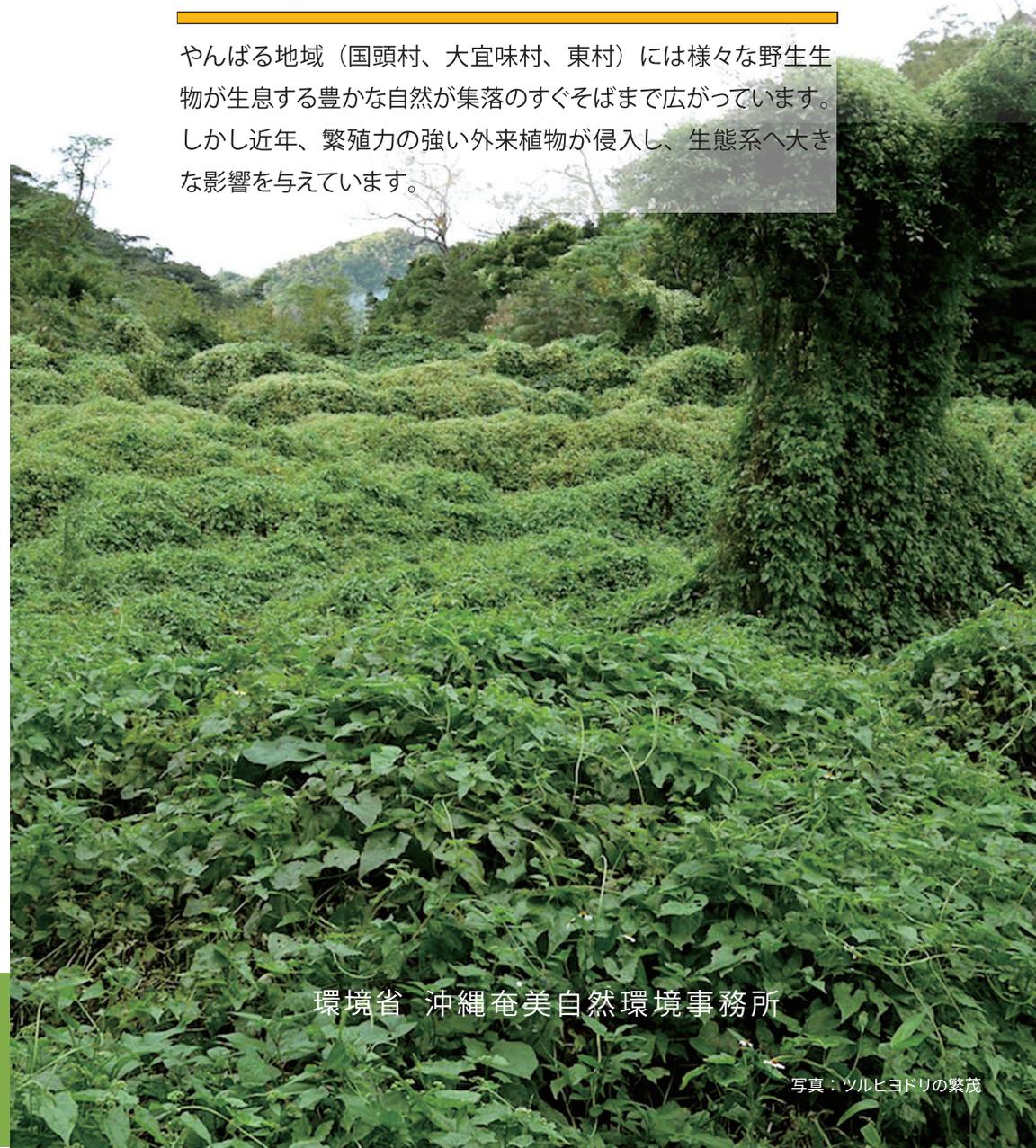
外来種被害防止行動計画
<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/actionplan.html>

◀編集▶ 環境省 やんばる自然保護官事務所
(やんばる野生生物保護センターウフギー自然館内)
株式会社 沖縄環境科学研究所

発行：平成 31 年 3 月

やんばる地域で対策が必要な 外来植物

やんばる地域（国頭村、大宜味村、東村）には様々な野生生物が生息する豊かな自然が集落のすぐそばまで広がっています。しかし近年、繁殖力の強い外来植物が侵入し、生態系へ大きな影響を与えています。



環境省 沖縄奄美自然環境事務所

写真：ツルヒヨドリの繁茂

外来種とは

本来の分布域に生息・生育する生物を“**在来種**”といいます。対して“**外来種**”とは「人の活動によって本来の分布域の外の国や地域に導入（移動）された生物種」のことを言います。外来種は、在来種及び健全な生態系の維持、人間の様々な活動に悪影響を与える場合もあります。現在、世界各地で外来種による問題が生じているため、様々な対策が行われています。



▲ ホテアオイ



▲ モミジバシルガオ



▲ アカミミガメ



▲ ファイリマングース

生態系・産業に係る被害

▼ シークワーサーを覆うツルヒヨドリ



植物の場合、繁殖力の強い外来種は在来の植物の上部や林床に急速に広がり、光、栄養分、水分をめぐる競争し、在来種を駆逐します。

また、農作物に絡みつき、生育不良、結実不良を引き起こします。急速な広がりを見せ、農業が困難になる場合もあります。



▲ ツルヒヨドリにより枯れた竹林の様子（大宜味村田嘉里）

環境省、農林水産省では我が国の生態系等に被害を及ぼす可能性がある生物をリストアップし、重要度によって様々な区分に分けています。

- **特定外来生物** ——— 必ず下記の事項に従ってください。
(法律で規制されています)
- **緊急対策外来種** ———
- **重点対策外来種** ——— 下記の事項に従ってください。
- **その他総合対策外来種** ———

特定外来生物の禁止事項

外来種の中でも、特に問題を引き起こす可能性の高い海外起源のものは外来生物法※注1により“**特定外来生物**”に指定しており、その飼養、栽培、保管、運搬、輸入といった取扱いを規制しています。

※注1 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律



特定外来生物を防除する際の注意

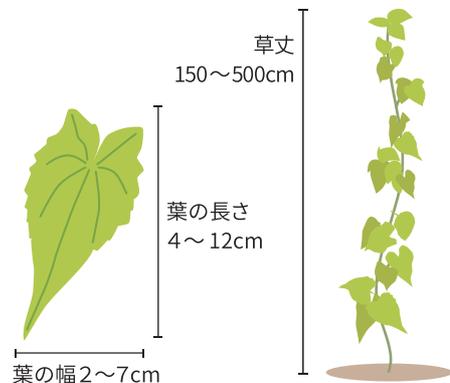
外来植物の防除には地方自治体や地域住民、ボランティア等の活動が必要不可欠です。特定外来生物に指定された外来植物を防除する場合、以下の要件を全て満たす事が出来れば「保管」「運搬」に該当しないものとし、防除活動を行う事が出来ます。

- 1 防除した植物ごみは焼却施設等にて必ず焼却処分すること
- 2 防除した植物ごみの運搬には茎や種子等が飛散、逸脱しないような措置が取られていること（ビニール袋による密封等）
- 3 防除作業日、実施主体、防除場所等を事前に告知すること
- 4 やむを得ず一時保管する場合には、逸脱防止措置が取られ、第三者が容易に持ち出す事が出来ないよう管理すること
- 5 抜いた根茎は再生する可能性があるので残さないこと

特定外来生物

ツルヒヨドリ

- 学名 *Mikania micrantha*
- 原産地 北アメリカと南アメリカの熱帯地域
- 開花時期 11～12月



特徴 キク科の多年草。
 茎は分岐しやや四角で有毛。茎から葉までの長さは1～10cmで1か所から2枚の葉が並ぶ対生です。葉の形は、先が尖り周りはギザギザして、3～7本の葉脈が目立ちます。花は5～7mmの白色で密集してつきます。(淡紅色・淡紫色もあります)

間違えやすい植物



▲オキナワクロミノスズメウリ ▲リュウキュウボタンヅル

葉は1対(2枚)

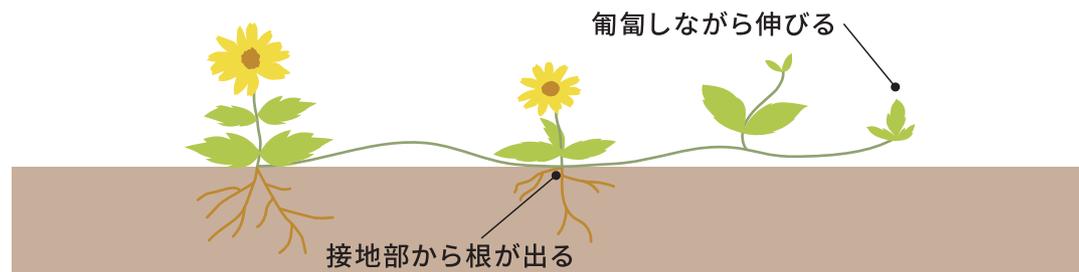
緊急対策外来種

アメリカハマグルマ

- 学名 *Sphagneticola trilobata* (*Wedelia trilobata*)
- 原産地 南アメリカ北部
- 開花時期 周年開花(冬季は少ない)
- 特徴 キク科の多年草。



年間を通じて草体繁殖します。葉の長さは5～10cm、幅2～5cm、1か所から2枚の葉が並ぶ対生です。葉の表面には剛毛があり、ザラザラしています。株元からつる状に地面を這いながら根を出して伸びます。花は在来種のハマグルマ(ネコノシタ)に似て、鮮橙色です。非常に生命力が強く、草刈り後に片付けずそのまま放置するとそこからまた広がります。



外来植物の除去方法

●特定外来生物はP2「防除する際の注意」を必ず守った上で行ってください。



注 外来種の中には除草剤に耐性があるものがあります。除草剤を使用する場合は他の植物へ影響を及ぼさないよう、場所や方法を考える必要があります。



草刈り業者の方へ
 外来植物が混じった草は谷間や斜面等に放置しないよう、お願いします。





特定
外来生物

オオキンケイギク

学名 *Coreopsis lanceolata*

原産地 北アメリカ

開花時期 5～7月

特徴 キク科の多年草。

高さは 30cm ～ 70cm 程度になります。とても強靱で繁殖力が強いです。観賞、緑化用として国内に導入され、道路の法面緑化等に使用されていたほか、ポット苗としても生産・流通されていました。



重点対策
外来種

ギンネム

学名 *Leucaena leucocephala*

原産地 中南米

開花時期 周年開花（冬季は少ない）

特徴 マメ科の落葉低木。

亜熱帯から熱帯の日当たりの良い道端や原野、林縁に生育します。やせ地でも育つが、土の浅い場所では樹高 1～2 m で止まります。沖縄では植栽地から周辺の空地や道路沿いの攪乱地などに侵入し、放棄された畑や宅地等に急速に広がりました。



その他
総合対策
外来種

ヤナギバルイラソウ

学名 *Ruellia brittoniana*

原産地 メキシコ

開花時期 4月～10月

特徴 キツネノマゴ科の多年草または常緑小低木。河原や空地等の礫地や道路の舗装の隙間に生育します。湛水状態でも育ちます。日当たりの良い場所で開花します。



特定
外来生物

ボタンウキクサ

学名 *Pistia stratiotes*

原産地 南アフリカ

開花時期 5～10月

特徴 サトイモ科の浮遊性常緑多年草。

日当たりの良い場所を好み、無機養分の吸収力が強く、塩分にも強いです。主に親株（株元）から水面に平行方向に匍匐茎を伸ばし、その先に小株を生じて増える栄養繁殖で広がります。



重点対策
外来種

ホテイアオイ

学名 *Eichhornia crassipes*

原産地 南アメリカ

開花時期 6～11月

特徴 ミズアオイ科の浮遊性常緑多年草。

日当たりの良い場所を好み、水質に対する適応性が極めて高いです。栄養繁殖が極めて盛んで、生育が非常に早く、爆発的に増えることができます。



重点対策
外来種

シュロガヤツリ

学名 *Cyperus alternifolius*

原産地 マダガスカル

開花時期 7～10月

特徴 カヤツリグサ科の多年草。

沖縄では「ヤブレガサ」と呼ばれ、古くから観賞用に栽培されたり、水質浄化のために植えられていましたが、暖かい地方で野生化し、増殖するようになりました。